

ご意見集約結果について（本地丘小、森孝東小、森孝西小及び森孝中の保護者の皆様）

・令和5年11月15日(火曜日)から令和5年11月29日(水曜日)までに、配布した資料へのご意見・ご質問と教育委員会の考え方をまとめたものです。

（配布対象：本地丘小、森孝東小、森孝西小及び森孝中の保護者）

・内容について、趣旨の類似するものはまとめさせていただいたほか、原文を一部要約し、また分割して掲載しておりますのでご了承ください。

・各校の配布枚数及び回答数

区分	本地丘小	森孝東小	森孝西小	森孝中	計
配布枚数	52	118	180	240	590
回答数	1	9	5	1	16
回答率	1.9%	7.6%	2.8%	0.4%	2.7%

1 統合案について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	・今回の統合案については、令和元年度に地域への説明会を実施し、多数の反対意見が出たと聞いています。それらの反対意見への明確な対応方針も示さないまま統合に向けて進めるのはいかななものでしょうか。 ・森孝東学区の住民の強い反対があり、計画は頓挫したと思っていました。地域住民と十分に話し合い、地域住民が納得した上での再計画案なのか、または教育委員会が強行しているのか、どちらでしょうか。 ・地域向け説明会や保護者向け説明会の有無と時期を明示していただきたいです。	令和元年度に実施した説明会でいただいたご意見、ご質問に対する教育委員会の考え方については、名古屋市公式ウェブサイトに掲載しておりますので、ご確認ください。 本地丘小学校・森孝東小学校・森孝西小学校の統合に関する説明・意見交換会 令和2年1月22日・26日・29日・2月1日 https://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000123288.html  森孝中学校ブロックの小学校については、すべて小規模校であり、配付させて資料でお示しさせていただいたように、小規模校には多くの課題があり、適正規模の統合校を開校したいと考えております。 これまでのヒアリングの中で、敷地面積や統合後の地域活動等について心配の声をいただいておりますが、その心配が解消されるよう引き続き丁寧に説明

	・教育現場だけでなく、もっと親やこれから子どもを育てていく世代（大人も子どもも）をまきこんで考えていってほしいし、考えたいです。	をしていきたいと考えています。 説明会については、今後、より具体的なプランが作成された後に開催させていただきますが、必要に応じて各学校等でご意見を伺ったり、説明をさせていただいたりする会を開催させていただきたいと考えております また、統合決定後は、統合に関する様々な事項についてお伺いするため、各学区の保護者、地域、学校の皆さまにご意見をお伺いする懇談会を設置する予定です。
2	・まるで統合が正式に決定したかのように見える資料に違和感を感じます。 ・想定スケジュールについて、年度等がここまで詳細に決められていたのであれば、もう少し早い段階で知りたかったです。	現在、「ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画」の「ステップ1」で、地域や保護者等の皆様にヒアリングをさせていただくことを通して事前調査をしている段階ですので、統合が正式に決定しているわけではありません。 また、今回配布させていただいた資料は、最短で統合決定をした場合の想定であり、統合の時期等が確定したものではありませんので、ご承知おきください。

2 教育活動について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
3	・森孝東小は小規模校で、メリットが多いと考えているため、統合案にあるようなデメリットには共感しづらいです。小中併設についても同様に、未来の小中学生にとって統合が良いのか悪いのかよくわからないのが本音です。ただ、少子化が進んでいくことと、コスト面を考えると統合は仕方ないのかなと思います。	学校教育では、子どもたちが集団の中で多様な考え方にふれ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することが大切であると考えており、その教育効果を上げるためには、一定の学校規模が必要と考えています。 教育委員会では、小学校では12学級以上を望ましい学校規模と考えていますが、国（文部科学省）においても平成27年に「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」が策定され、同様の考え方が望ましいとされています。

・ メリットもデメリットどちらも理解できるので絶対反対、という気持ちはないです。 ・ 子どもがどんどん少なくなっていくので、当然の流れとも思いますが、それなら学校自体の在り方を考えなおす機会なのではないでしょうか。 ・ 少人数教育の良さをうたっているこの現代で、時代に逆行する必要を全く理解できません。文部科学省の資料にも、少人数学級による効果はメリットしかかかれていません。本当に子どもたちのことを考えたうえでの統合なのでしょうか。 ・ きめ細かな見守りの中でのびのびと生活していてよい環境だったと思います。同じにはできないと分かっていますが、同様であってほしいと願っています。	小規模校には、「学校行事で活動の場を与えやすい」、「一人ひとりの子どもにきめの細かい指導がしやすい」といったよさがありますが、その一方で、「クラス替えができないことにより人間関係の固定化が生じやすい」、「体育の球技などの集団学習、班活動やグループ分けなどに制約が生じる」、また、「指導上課題がある子どもの問題行動にクラス全体が影響を受けやすくなる」といった課題などがあります。 3つの小学校が統合した西区のなごや小学校の子ども・保護者に対するアンケートでは、子どもたちは統合により「新しい友達ができてうれしい」、「授業が楽しくなった」、「休み時間に遊ぶ友達や遊びの種類が増えた」、「行事（遠足や運動会など）で人数が増えて楽しくなった」、「たくさんの先生と話ができるのでよかった」といった声を多くいただいています。 少人数学級につきましては、本市では、国に先駆けて35人学級制の導入を進めるとともに、小学生1・2年生においては30人学級制を採用しています。また、授業においても、児童一人ひとりの実態に応じた少人数指導を実施しており、良い結果が出ていることが確認されているところです。 少人数学級や様々な指導の充実策を進める一方で、統合により、クラス替えのできる「望ましい学校規模」の確保し、子どもたちがこれまでよりも多くの考え方や価値観に出会い、社会性や協調性を伸ばす機会をつくることは早急に取り組むべき課題であると考えています。
---	--

<参考：学校規模と少人数学級の関係性>

○森孝東小の例

	児童数 (A)	1学年当たり の児童数 (A÷6)	クラス数	1クラス当たり の児童数
令和5年度	142人	23.7人	1	23.7人
令和11年度 (3校合わせて)	293人	48.8人	2	24.4人

上記のように、1クラスあたりの人数はほぼ変わらず（少人数学級のまま）、クラス数が増加する（1クラス→2クラス）ことが統合による効果となります。

4

中学校と統合する必要はあるのでしょうか。中学校と統合するメリットはあまりないように思います。

小中併設型の学校では、年間を通じた教育や小・中学校教員の相互乗り入れの指導により、学習意欲の向上、授業の理解度の向上、学習習慣の定着が図れると考えています。また、中学校進学に伴う学習面や生活面のつまづき・負担、いわゆる「中1ギャップ」の緩和にも効果があります。

5

・中学生も給食が食べられるとよいです。
・統合したら中学生も全員自校調理した給食になるのでしょうか？

中学生への給食の提供については、同じ施設内に給食調理場が整備されることから、統合が正式に決定した後に、保護者・地域・学校の皆様のご意見を伺いながら、検討してまいります。

6

ひばり組のような支援学級の児童も、統合することで人数が多くなり、今後入学できなかったり、今までのような決め細かな支援が可能なのか、知りたいです。

現在、3つの小学校（中学校）において設置されている特別支援学級や通級指導教室については、統合校にも引き継ぎ、設置するよう検討します。
また、公立小・中学校における特別支援学級については、1学級あたり上限8人と決まっておりますので、統合後もこれまでどおりきめ細かな支援が出来るよう努めてまいります。

3 通学距離・登下校について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
7	・名古屋市の基準の通学距離 2 km以内で収まっていますが、小学校低学年の子には、遠すぎるのではないのでしょうか。森孝東、本地ヶ丘の方は平坦な道ではなく、坂も多いので身体的な負担は大きいと思います。 ・統合したら、さすがに小学校が遠すぎるのではないのでしょうか。 ・体力のない小学生の通学の安全を確保できるでしょうか。通学距離が 2 km以内という基準は今の時代に適しているのでしょうか？ ・森孝西学区（の西側地域）から通学する中学生にとっては負担ではないのでしょうか。自転車通学の選択があってもよいのではと思います。中学生の重そうなリュックを見ていると徒歩での通学では体への負担がありそうです。 ・新校舎建設中の森孝中の場所は森孝東小の場所がいいと思います。なぜなら、森孝西学区から本地丘小までの通学距離が長いので、負担になると思います。	本市では、小学校と中学校の通学は徒歩を基本とし、小学校は概ね 2 km、中学校は概ね 3km を目安としています。3つの学区からはいずれもこの目安の距離を超えないことから、まずは子どもたちが徒歩で安全に、また安心して通学できる方策について検討したいと考えています。 また、令和 5 年度時点で、名古屋市内で、2.0km 以上の通学距離を通学している児童がいる小学校は 13 校あります。最も長い通学距離は 3.3km です。
8	登下校の安全面については、やはり四軒家など大きな交差点には歩道橋などの設置が必要なのではと思います。	歩道橋の設置については、土木事務所等に設置を要請していくこととなります。 通学路上の交通安全の確保については、学校での安全指導はもとより、警察・

		土木事務所など関係行政機関との連携を行ってまいります。 なごや小の場合には、関係行政機関に、次のような対策を実施していただきました。①狭い歩道へのガードパイプの設置、②横断歩道の設置、③注意表示の設置、④歩行者先出信号の設置、⑤自転車専用レーンの設置、⑥青信号の時間延長、⑦道路へのカラー舗装
9	・校門が2ヶ所で、緑陰歩道から通学出来ると安心です。 ・登下校に心配があり、特に下校時の安全確保、やはり大人の目が何学年であってもほしいです。見守り、声かけは重要だと思います。旗当番の頻度も不安です。 ・小学生を冬の5時過ぎにこの距離をどう安全に帰宅させるのか、しっかりと地域で考える必要があると思います。 ・より多くの児童が交差点を通ることになると思います。交通ルールを児童が守っていても事故にあうことはニュースでもよく聞きます。「ルールを守らない大人(車)がいる」ということを児童に知ってもらいたいです。統合前、統合後、そのような授業があるといいと思います。「交通事故の例」を知っているだけでも自分の身を守るのに有効だと思います。	統合の前年度までに、両校の保護者や地域の方々とともに、具体的な通学路の設定とその安全対策について検討します。また、子どもたちの通学練習会を実施する等、交通安全指導にも取り組んでまいります。 不審者等に対する登下校時の防犯対策として、「子ども安全ボランティア」など地域の方による見守り活動や、子どもが身の危険を感じた時に駆け込める「子ども110番の家」などがあります。新しい通学路における安全対策については、こうした取り組みも踏まえながら、保護者・地域・学校とともに検討してまいります。 また、冬場に薄暗くなった後の下校にいては、同じ方面に住む子どもたちが固まって下校できるようにするなど、学校とともに検討していきたいと考えております。
10	近年、夏には40℃を超えることがあり、統合してさらに倍近い距離を低学年の子供達が気温の高い時間帯に帰ってくる事を考えると、熱中症対策にも力を入れてほし	通学における子どもへの負担という点では、現在も各学校で登下校時の荷物の問題や熱中症への対策に取り組んでいますが、それぞれの取り組みを持ち寄りながら、新しい学校での対策について検討したいと考えています。

	いと強く考えます。(例えば、帰りに水筒の補給や塩タブレットを持参する等)	
--	--------------------------------------	--

4 学校施設について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
11	・中学校に全て統合するには、スペースが狭いと思います。 ・運動場が狭くなるのではないかと心配です。なかなか難しいと思いますが、近くの土地が売りに出されていれば購入して学校の用地にできないでしょうか。 ・現森孝中学校の広さで不自由なく生活が送れるのでしょうか、狭いと思います。 ・現在の森孝中学校の敷地が狭いため、体育館や校庭での活動において不便なように感じます。 ・広々とした場で学び、構内でもっと畑などを広げ地域の人にも活用してもらえば良いと思います。避難所兼食料も確保できます。 ・校舎を建設するということで、落下防止等、安全に配慮した校舎にしてほしいです。	小学校及び中学校にそれぞれ必要となる施設を、現状の森孝中学校の敷地において、国の基準を満たす面積や必要な機能が確保できるかについては、図面検討等を行い可能であると考えております。 しかしながら、国の基準を満たす面積や機能を備えるためには、現在の森孝中学校の敷地を最大限活用し、効果的な空間利用を含めて整備する必要があると考えており、そのため、現在の校舎、体育館、格技場を含めた大きな整備工事が必要となります。 どのような校舎配置とするか、どこに校門を配置するか、体育館などの利用形態をどうするかについては、統合が決まりましたら、保護者・地域・学校の皆さまのご意見を伺いながら、検討していきたいと考えております。

12	・小学生は車の送迎が多いので安全にできる様にしてほしいです。 ・夏休みなどのトワイライトの送り迎えの際、中学校まで親も歩いていくのでしょうか。仕事もあるので2 kmを往復して会社に行くのは現実的ではありません。駐車場を作って欲しいです。 ・要望として、保護者用の駐車場を作ってほしいです。体調不良や体の不自由な生徒の為に送迎しやすい環境をお願いします。 ・校門が2ヶ所と車の送迎が安全に出来る様にしてほしいです。小学生は車での迎えが多いのでそこも加味してほしいです。	駐車場の整備につきましては、体調不良や体の不自由がある場合等、特段の事情がある場合に限っては、これまで通り学校にご相談いただきますようお願いいたします。
13	トワイライトの場所はどうなるのでしょうか。家から大人の足で歩いて20分かかります。子供と一緒に帰ってきたら往復で50分はかかるのですが、中学校に作るのでしょうか。	トワイライトは小学校内を実施場所としていますので、現在3つの小学校でそれぞれ実施されているトワイライトは、統合校（現森孝中学校）で実施されることとなります。本市では、小学校の通学距離は概ね2 kmを目安としております。3つの学区からはいずれもこの目安の距離を超えておりませんので、ご理解ください。
14	新しい校舎を建てるのに何百万円、何千万円の費用がかかると思いますが、時間とお金の無駄です。別のことにお金を使っていたきたいです。	市立小・中学校の校舎の老朽化が進む中、順次改修は行っていますが、すべての学校が現在の社会的ニーズに対応した設備に改修・改築するには長い期間を要すると考えております。統合により新しい学校を作るにあたっては、改修や改築を行い、このような老朽化の課題も解消することを考えています。

5 今後の見通し

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
15	・統合しても森孝中学校自体、数年後には小規模校になるのではと思います。新設するには近い将来も不安に感じますし、長い歴史のある学校になってほしいです。	教育委員会の推計では、今後しばらくの間は適正規模が維持され则认为しております。
16	・スケジュールの、令和 9～11 年度の期間の学校生活について、森孝中が森孝東小へ移転している間、小学校と同じ校舎で学習することになった場合の、運動場の使用や特別教室のことなど、何の説明もありません。統合後のことばかりでなく、移行期間の説明をきちんとしてほしいです。子どもにとってのこの 3 年間はとても重要だと思います。 ・令和 9～11 年度の森孝中の移転について、「先行統合で空いた学校を利用して」というのは、本地丘小森孝東小のいずれかの校舎ということでしょうか。	現在の統合案としましては、森孝中で大規模な整備を行い、新校舎を設立することから、森孝中の生徒については、いずれかの時点で本地丘小又は森孝東小のどちらかに仮移転をしていただくことになります。本地丘小又は森孝東小どちらに移転するかにつきましては、今後、保護者、地域、学校の皆さまの意見を聴き、より具体的なプランを作成する際にお示ししてまいります。 また、ご指摘のとおり、中学生と小学生では必要となる特別教室などに違いがあることから、中学生の皆さまの学習に支障をきたさないよう、仮移転先の小学校に必要な整備を実施する予定です。

6 その他

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
17	統合案には反対です。ただ、本地丘小は特に少子化が進んでいて、早く適正な人数の学校に通わせてあげたいと思います。尾張旭市の小学校に通うのが迅速で費用もかからず、良いのではないかと考えます。	本地丘小から約 1.2 kmのところに尾張旭市立本地原小があり、R4 年度の本地原小の児童数は 554 人、21 クラスであり、本市の基準でいうところの「適正規模」となっております。小学校の設置自治体がそもそも異なることから、小規模解消について、迅速な対応は困難であると考えております。

18	新校舎建設中に校舎を移動することで少なからずストレスがかかると思うのですが、そのあたりのケアはされるのでしょうか。子供にとっての３年と大人になっての３年では感じ方、その後への影響も全く違うと思います。	統合により始まる新しい学校生活においては、通学する学校の変更、新しい友達との交友関係、慣れない通学路など、子どもたちは統合前に比べ、心身の負担が増えるものと考えており、その負担軽減を図ることは大変重要であると考えております。 これまでの統合校における負担軽減策としましては、子どもたちの学習や生活の悩みを聞いてもらっているスクールカウンセラーの配置時間を増やし、子どもたちの学校生活が軌道に乗るまで見守っていただいております。統合が正式に決まりましたら、保護者、地域、学校の皆さまのご意見を伺いながら、対策を検討してまいります。
19	新校舎への引越しの後、小学校の跡地はどうなるのでしょうか	小学校の跡地の活用については、大きな課題であると認識しています。 本市ではこれまで４つの統合校を開校しましたが、跡地となった７か所の旧小学校は、統合後もすべて指定避難所となっています。跡地の活用方法は、統合の決定後、地域に必要な避難所機能など地域の関係者等のご意見もお聞きし、関係部局とも連携を図りながら全市的な視点で検討してまいります。 学校跡地の活用状況 https://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000119794.html 